

S I P 第 3 期「サーキュラーエコノミーシステムの構築」
社会実装に向けた戦略及び研究開発計画の変更について

令和 8 年 5 月 2 8 日
サーキュラーエコノミーシステムの構築
プログラムディレクター 伊藤 耕三

今般、「サーキュラーエコノミーシステムの構築」（以下「本 SIP」という。）においては、ユーザーレビュー及びステージゲート審査による中間評価を踏まえ、2026 年度以降の残り 2 年間の研究期間に向けて研究体制等の大幅な見直しを行った。それに伴い、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画についても、中間評価で示した課題全体の今後の方針・ビジョンを反映し、併せて、現時点での研究進捗を踏まえた内容更新を行うこととする。主な変更点は以下のとおり。

1. ユーザーレビュー、ステージゲート審査による中間評価を受け、2026 年度以降における課題全体について、PD の今後の方針、ビジョンを踏まえ、「II.社会実装に向けた戦略」の改訂を行った。なお、2026 年度以降の具体的な研究計画内容については、現在、PD 及び研究機関との調整中であり、次回の研究開発計画の変更時に「III.研究開発計画」を更新することとしたい。
2. 令和 7 年度の研究成果について、「III.研究開発計画 3.個別研究開発テーマの項目」に追記した。
3. 課題マネジメント体制について、サブ PD の退任、新任等による変更内容を「IV.課題マネジメント・協力連携体制」に追記した。
4. ELV 規則案修正案や関係省庁のサーキュラーエコノミーに関する取組など国内外の最新動向について、「I.Society5.0 における将来像」を更新した。

以上